

## 令和4年度 第1回 富田林市交通会議 議事録

主管：富田林市 道路交通課

日時：令和4年4月22日（金）午前10時～11時

会場：富田林市役所 4階 401会議室

- 出席委員 23名  
三星委員（オンライン出席）、柳原委員、酒井委員、中西委員、芝池委員、石田委員、南野委員、西田委員、池田委員、松永委員、天堀委員、塩野委員、秋元委員、下垣内委員、西谷委員、芝辻委員、豊福委員、中塚委員、松田委員、金銅委員、北村委員、柳田委員、小野委員
- 欠席委員 4名  
岡部委員、高平委員、北野委員、山原委員
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴人人数 4名
- 会議次第及び議事要旨
  1. 議題
    - (1) 富田林市交通会議監事の選任について  
事務局から資料2及び資料3に基づき説明した。委員から事務局一任の意見が上がったため事務局から石田委員及び金銅委員の選任を提案したところ、各委員にて了承された。
    - (2) 富田林市交通会議財務規約の制定について  
事務局から資料3及び資料4に基づき説明したところ、各委員にて了承された。
    - (3) 富田林市交通会議令和4年度予算（案）について  
事務局から資料5に基づき説明したところ、各委員にて了承された。質疑及び意見等は、議事概要のとおり。
    - (4) 富田林市地域公共交通計画策定支援業務受注候補者選定委員会の設置について  
事務局から資料6及び資料7に基づき説明し、会長にて了承された。質疑及び意見等は、議事概要のとおり。
  2. 報告事項
    - (1) レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について  
事務局から資料8に基づき説明した。質疑及び意見等は、議事概要のとおり。

### 3. その他

事務局からレインボーバスのあり方検討分科会初回開催日程（令和4年4月26日（火）午前10時～）、交通会議次回開催日程（令和4年7月20日（水）午後2時～）についての案内を行った。その他、各委員からの質疑及び意見等は、議事概要のとおり。

#### ● 資料

- 資料1 委員名簿
- 資料2 議案第1号 富田林市交通会議監事の選任について
- 資料3 富田林市交通会議設置要綱
- 資料4 議案第2号 富田林市交通会議財務規約の制定について
- 資料5 議案第3号 令和4年度 富田林市交通会議予算（案）
- 資料6 議案第4号 富田林市地域公共交通計画策定支援業務受注候補者選定委員会の設置について
- 資料7 富田林市交通会議分科会設置規約
- 資料8 レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

#### ● 議事概要

##### 1. 議題

(3) 富田林市交通会議令和4年度予算（案）について

石田委員 予算1,000万円ということだが内訳は。

事務局 国庫補助金の交付決定額がまだ決まっていないため正式な額をお伝えすることができないが、地域公共交通の事業の中で国庫補助金を活用し、残りの部分について市補助金を活用し合計1,000万円を歳入及び歳出として計上している。

西田委員 事業費の説明はあるが内容が分かりにくいので説明を。

事務局 地域公共交通活性化再生法に基づく地域公共交通計画の策定にあたり、富田林市交通会議において議論し策定することになる。交通会議の中で計画策定に係る委託業務の業者を選定し決定したうえで、その業者に支払う委託料として、今回1,000万円を見込んでいる。

柳原議長 令和4年度は地域公共交通計画の策定を予定している。計画の策定には我々交通会議の委員だけでは難しいため、業者に基礎データ等の収集を依頼し、そのデータをもとにこの交通会議にて議論をし、業者・市とともに計画を策定することになる。この予算案は計画策定支援業務の委託料となる。

- (4) 富田林市地域公共交通計画策定支援業務受注候補者選定委員会の設置について
- 柳原議長 地域公共交通計画の策定支援業務を実施するにあたり、業務を受注する業者を選定するための委員会を新たに設置するものとなる。先ほど議題に上がった予算案について、通常であれば入札という形をとり安い金額で応札した業者と契約を結ぶという形になるが、今回はそうではなく、業者からプレゼンテーションを受けるプロポーザル方式を採用する。富田林市について理解が深く、かつ、我々の意見をくみ取りながら支援をしてくれる業者を選定するため、委員会を設置するということである。
- 松田会長 委員の選任について、事務局にて案があるのであれば提案してもらうのはどうか。
- 事務局 事務局からの案としては、学識経験者からは三星委員と柳原議長。市民委員からは松永委員と天堀委員。市職員からは柳田委員、小野委員を提案する。
- 柳原議長 当委員については、規約上、会長が指名をして決定するという位置づけになる。
- 松田会長 事務局から提案のあった6名に委員をお願いしたいと考える。

## 2. 報告事項

### (1) レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

- 柳原議長 この分科会では交通会議の市民委員にも参加いただき、レインボーバスのあり方について検討をしている。事務局より報告のあったとおり、令和3年度については1回しか開催ができていないが、1回目の意見の中では、レインボーバスの現在の路線には民間のバス事業者の路線もあり、また、病院送迎も走っているというところであまり利用がないのではないかと。それならば、むしろ、交通不便地域にレインボーバスを回したほうが良いのではという意見が出ている。すぐに決定するというのではなく、今後、分科会にて議論を重ねるなかでレインボーバスのあり方を検討していくものとなっている。
- 南野委員 分科会を構成するメンバーはどうなっているのか。
- 事務局 分科会長として柳原議長。近畿運輸局から酒井委員、中西委員。市民委員から石田委員、南野委員、西田委員、池田委員、松永委員、天堀委員、元交通会議委員の美馬委員。また、公共交通事業者として、近鉄バスから塩野委員。南海バスから秋元委員。金剛自動車から北野委員。現状は以上の13名だが、市民委員としてPTA連絡協議会からも

1名推薦いただく予定のため、合計14名で構成されることになる。

### 3. その他

柳原議長

その他、全体的なところで何かご意見があるか。オンライン参加の三星委員はどうか。

三星委員

レインボーバスについての説明はよくわかり、状況を把握した。全体的な話としては、補足として情報提供になるが、昨年から国土交通省がバックアップして、運輸総合研究所が中心となって2050年、将来を見渡して、地域交通のあり方検討を行う委員会が設置されている。私も委員として入っているが、高齢者の日常生活支援のなかで昨年から中期から長期的なことを見据えて検討を行っているので、どのような内容になったか逐次報告をする。

天堀委員

レインボーバス分科会ではワークショップ形式で会議をする予定という説明だったが、どんなふうに行うのか。

事務局

市民委員にメインとなっていただき、富田林市の公共交通に対するの考えや思いを話し合ってくださいものとなる。バス事業者や運輸局にはサポートとして入っていただく予定である。

金銅委員

今年度は、地域公共交通計画の策定が非常に大きな肝となるかと思うが、今年度どのようなタイミングで何を決めて、最終的にどういうことを目指すのかをもう少しお示しいただきたい。

事務局

先ほど選任された業者選定委員とともに業者を選定して、その業者と今後計画策定にあたりどのような準備や調査が必要かという詳細の打ち合わせをしたうえで、7月20日に開催を予定している交通会議で計画策定の流れを説明させていただき予定にしている。  
また、そのあとは9月までの間に調査等により市民のニーズがどのようなものか情報収集を行い、10月中に会議開催について議長と調整のうえ決定していきたい。また、12月か1月頃ごろまでに計画の骨子を策定し、交通会議にて委員に審議をいただきたいと考えている。

以上